

きっとある。
今、私にできること！

学生
ボランティア



学生・語学支援ボランティア



災害に強い
街づくり

災害発生時、“私にできること”って？

避難者の
受入れや誘導

避難所等の
運営手伝い

子供や高齢者等の
支援

来日外国人に
対する語学支援

きっとある。今、私にできること！

ムービー公開中

詳しくは警視庁ホームページ・
動画ライブラリーへ



警視庁警備部災害対策課

リサイクル適性(A)
Copyright © 2014
Vサインです。

きつとある。今、私に

災害時、キミの街

あなたも「学生・語学支援ボランティア」として、
自分ができることから始めよう!

「災害」はいつ起きても 不思議じゃない!

地震、津波、噴火、洪水、土砂崩れなどの災害。平成23年に発生した東日本大震災以降も日本各地で多くの災害が発生しています。政府の地震調査研究推進本部は、「今後30年以内に南関東で直下型大規模地震が発生する確率は70%」と公表しています。今この時、この場所で災害が起こるかもしれません。

「災害時」なぜ学生の みなさんのチカラが 必要なのか?

災害発生直後は、警察など公的機関が被災地全域の支援を行うには限界があるため、『自助』（自分の命は自分で守る）と『共助』（自分たちの街は自分たちで守る）が重要になります。その中でも、学生のみなさんの「若いチカラ」が必要とされています。

「学生ボランティア」として できることって何?

避難所での避難者の受入れ・誘導、支援物資の配付作業等の手伝いや子供・高齢者等への支援など、さまざまな場所や場面で“自分にできること”を考えてみてください。

「語学支援ボランティア」として できることって何?

災害が発生したら、特に言葉が通じない外国人の方は不安を抱えることとなります。外国語を話せるみなさんが「一緒に逃げましょう」、「ケガをしていませんか?」などと声掛けするだけで不安解消につながるはずです。

できること!